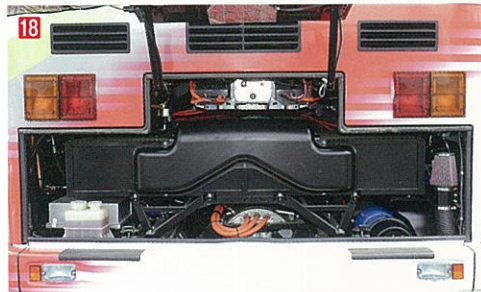




東日本旅客鉄道 / いすゞエルガミオ, 東京R&D



震災で運休しているJR気仙沼線の仮復旧措置であるBRTに、4月17日から電気バス「e-BRT」が加わった。中型車のいすゞエルガミオノンステップ (LR290J1) をベースに、東京R&Dが電気バス化。トランスミッションやクラッチを残すとともに150kWモーターを採用し、後部とルーフ上に三菱重工製リチウムイオンバッテリー (計65.12kWh) を搭載。さらに車内照明などの電源用としてルーフに太陽光パネルを設置している。車内はノンステップバス郊外型を基本にしなが、車内照明にはLED式スポットライトと同ファイバーライトを採用。さらにグリーン系の内装色に青系のスタンションポール/降車合図ボタンを組み合わせるなど、新規性や独自性を打ち出している。さらに一部シートの背面にモバイル機器充電用のUSBコンセントを設置し、サービス性も高めている。運行はミヤコバスが担当し、本吉―気仙沼間 (片道22km) を1日2往復、片道走行ごとに急速充電される

